



# 2019年度通常枠 PO研修 (事後評価)

## 参考資料

2020年6月28日  
NPO法人まちぽっと

# 実行団体の皆さん

- ① NPO法人エコ・コミュニケーションセンター（ECOM）（東京）  
「地域資源をしごとにする！」担い手育成3か年計画
- ② 認定NPO法人くるみー来未（神奈川）  
川崎市中原区の一軒家型コミュニティースペース「くるみのおうち」運営
- ③ NPO法人芸術家と子どもたち（東京）  
プロの芸術家による表現ワークショップを通じた当事者の交流及び共同創作事業
- ④ NPO法人コミュサーあおもり（青森）  
フリースクール「あおもりサニーヒル」運営事業
- ⑤ NPO法人全国女性シェルターネット（東京）  
「女性に対する暴力」専門相談支援者育成事業
- ⑥ NPO法人東京里山開拓団（東京）  
児童養護施設との里山開拓活動とそれを支える企業向け里山研修事業
- ⑦ 一般社団法人栃木県若年者支援機構（栃木）  
小さなもののづくりから始まる「しごとはじめ」×「誰でも学べる寺子屋」で、社会とのつながりに苦しさを抱える人たちに安心を
- ⑧ 認定NPO法人びーのびーの（神奈川）  
新生児家庭を育む「新生児ファミリーミニステイ」実現のためのプラットフォームづくり
- ⑨ NPO法人フリースクール木のねっこ（広島）  
子どもがつくる次世代型町内会
- ⑩ NPO法人Tansa（東京）  
市民社会の調査・発信力強化プロジェクト

# 評価計画書・中間評価(抜粋)

評価の要素	評価項目	評価小項目	評価基準		測定方法		
			判断方法 (指標など)	判断基準値 (目標値／状態など)	必要なデータ	情報源	データ収集方法
実施状況の分析	⑤実施状況の適切性	実行団体による活動は計画どおり実施されているか	・開催等の回数、・内容、・参加者数、など	事業計画段階と中間評価報告段階の比較	定量データ 定性データ	・事業計画、・進捗報告、中間評価報告	関係者インタビュー
実施状況の分析	⑥知見の共有、活動の改善	資金分配団体は実行団体の知見を広く共有できるよう整理・蓄積しているか	事業の参考となる情報が提供できているか	提供できている/一定程度できる/できない	定性データ	・先行研究、・事業計画、・進捗報告、中間評価報告	ケーススタディ
実施状況の分析	⑥知見の共有、活動の改善	事業を通して先駆的なアイデアが生まれたか	先駆的なアイデア、事業計画の変更がなされたか	先駆的なアイデア、他団体との事業連携等の有無	定性データ	・先行研究、・事業計画、・進捗報告、中間評価報告	ケーススタディ
実施状況の分析	⑦組織基盤の強化	実行団体の組織基盤はどの程度強化されたか	財政的、人的な強化に向けた取組みが実施されているか	取組みの有無、収入・人材の増減	定量データ 定性データ	・事業計画、・進捗報告、中間評価報告、ほか	関係者インタビュー
実施状況の分析	⑥知見の共有、活動の改善	「緊急支援枠」により本来事業活動への反映、改善がされたか	「緊急支援枠」と「通常事業」の相関	「通常事業」の事業計画等の変更の有無	定性データ	・事業計画、・進捗報告、中間評価報告	ケーススタディ
実施状況の分析	⑦組織基盤の強化	「緊急支援枠」により緊急対応への組織体制のあり方を整理し、見直しがされたか	「緊急支援枠」によりリスク管理体制の構築がなされたか	リスク管理体制の構築の有無	定性データ	・事業計画、・進捗報告、中間評価報告	ケーススタディ

# 事業計画書・短期アウトカム



(2) 短期アウトカム（資金的支援）	指標	初期値/初期状態	目標値／目標状態	目標達成時期
1. 実行団体の取組みにより、人と人、組織と組織のつながりや連携・協力が強化される。	「地域コミュニティ」を重視し、 ①連携・協力団体は増えているか ②当事者の参加は増えているか ③どのようにつながりや連携・協力が図られたか	5段階で初期値を置く/事業実施に際して地域の団体などどのようなつながりを持っているか。	10段階で目標値を置く/事業の実施で地域の団体などどのようなつながりが生じたか。	2023年3月 (2021年3月、2022年3月には中間的な時期として設定)
2. 実行団体の取組みにより、公共政策・制度的な課題を明確にし、改善策を明らかに提示する。	「社会貢献」を重視し、 ①公共政策・制度的な課題を明らかにできたか ②公共政策・制度的な改善策を提示できたか	3段階で初期値を置く/協同・公共の意識のもとに事業を計画しているか。	3段階で目標値を置く/事業の実施後協同・公共的な実績が生じたか。	2023年3月 (2021年3月、2022年3月には中間的な時期として設定)
3. 実行団体が自らの活動を評価し、目的・目標・活動を明確化することにより、その改善を図り事業の重要性を高める。	「目的の明確化」を重視し、 ①事業の目的・目標の重要性が確認できたか ②事業の目的・目標の改善点が明らかにできたか	3段階で初期値を置く/事業の実施に際して目的・目標が明確化されているか。	3段階で目標値を置く/事業の実施後目的・目標が達成されたか。	2023年3月 (2021年3月、2022年3月には中間的な時期として設定)
4. 実行団体が自らの組織マネジメントのあり方を振り返り組織の持続可能性を高める。	「発展性」を重視し、 ①活動や事業を通じた担い手の数は増えたか ②組織マネジメントの課題は明らかになったか ③事業を通じた組織の変化や効果はあったか	マネジメントシートによる/事業実施にあたり組織マネジメントシートを記入する。	マネジメントシートによる/事業実施後に組織マネジメントシートを記入しその分析を行う。	2023年3月 (2021年3月、2022年3月には中間的な時期として設定)
5. 「コロナ対策緊急支援」により緊急対策、リスク管理等の構築、強化を図ることができる。(8団体対象)	①緊急・協力体制の強化が図れたか ②既存採択事業への影響は抑えられたか	組織運営体制を確認し、対象者の状況が把握されているか。	組織運営体制が強化され、対象者の状況が改善されたか。	2021年8月

# 中間評価・短期アウトカムの進捗状況

(2) 短期アウトカム（資金的支援）	指標	初期値/初期状態	目標値／目標状態	目標達成時期
I. 実行団体の取組みにより人と人、組織と組織のつながりや連携・協力が強化される。	<p>「地域コミュニティ」を重視し、            ①連携・協力団体は増えているか            ②当事者の参加は増えているか            ③どのようにつながりや連携・協力が図れたか</p>	5段階で初期値を置く/事業実施に際して地域の団体などとどのようなつながりを持っているか。	10段階で目標値を置く/事業の実施で地域の団体などとどのようなつながりが生じたか。	2023年3月 (2021年3月、2022年3月には中間的な時期として設定)

	目標値・状態	中間評価時数
1	団体数及び当事者が大幅に増えた	
2	団体数及び当事者が少し増えた	4
3	団体数が大幅に増えた	
4	当事者が大幅に増えた	
5	団体数が少し増えた	5
6	当事者が少し増えた	1
7	変わらない	
8	団体数が減った	
9	当事者が減った	
10	団体数及び当事者が減った	

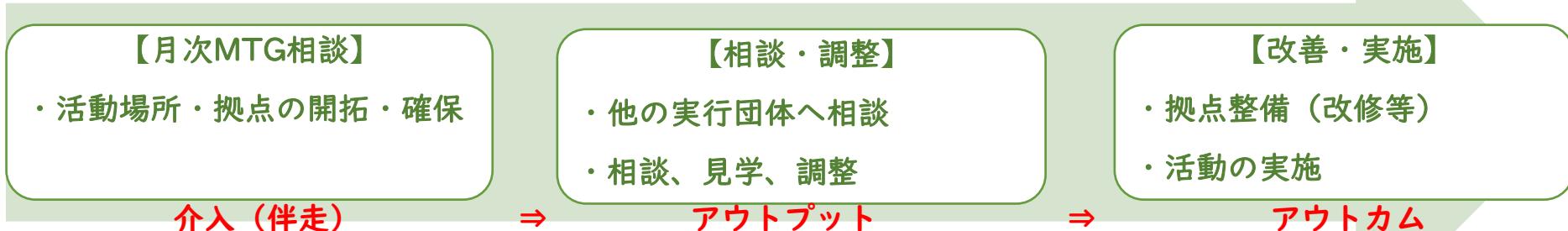
- ・実行団体間の連携・協力が複数の団体で行われ、協力事業の実施や活動拠点の確保がなされた。

# 【実行団体間の協力】伴走支援と評価

## ● 活動場所・拠点の確保・確保

### ➤ 取組みの流れ

緑・青：実施済み、橙色：未実施



### ➤ 取組概要と○資金分配団体としての要点など

- ・月次MTGでの相談により、事業活動の課題を抽出し、実行団体間での協力を提案
- 実行団体の活動やつながり、強味など把握

- ・実行団体間での直接関与、情報の共有化や見学、地権者・地域住民との調整を実施
- 自主・自発意識の尊重、進捗状況の把握

- ・拠点の整備（改修等）にかかる費用の助成金の活用
- 助成事業との関係性、必要性の確認
- 継続した事業の実施を確認

# 【実行団体間の協力】伴走支援と評価

## 2) 事業活動の協力

共同での事業の実施（講座の開催）

➤ 取組みの流れ

【中間報告会での交流】

- ・実行団体間での事業活動の理解

【企画の立案・調整】

- ・報道記者講座企画の立案、調整

【講座の開催】

- ・4回連続講座の開催
- ・企画モデルの作成

介入（伴走）

⇒

アウトプット

⇒

アウトカム

➤ ・取組概要と○資金分配団体としての要点など

- ・中間報告会で互いの事業を理解
- 実行団体間の交流の場の提供

- ・実行団体間での直接関与、対象者（子どもたち）に相談
- 自主・自発意識の尊重、進捗状況の把握

- ・講座の開催と評価
- 本講座の記録、企画モデル化と他団体での開催

# 中間評価・短期アウトカムの進捗状況

(2) 短期アウトカム（資金的支援）	指標	初期値/初期状態	目標値／目標状態	目標達成時期
2. 実行団体の取組みにより、公共政策・制度的な課題を明確にし、改善策を明らかにし提示する。	「社会貢献」を重視し、 ①公共政策・制度的な課題を明らかにできたか ②公共政策・制度的な改善策を提示できたか	3段階で初期値を置く/協同・公共の意識のもとに事業を計画しているか。	3段階で目標値を置く/事業の実施後協同・公共的な実績が生じたか。	2023年3月 (2021年3月、2022年3月には中間的な時期として設定)

	目標値・状態	中間評価時数
1	提案ができた	
2	問題点が整理できた	5
3	できなかった	5

・一部の団体で事業活動の中から公共政策・制度的な情報・データ等が把握された。

# 【公共政策・制度への関与】伴走支援と評価

## ● フリースクール支援

自治体によるフリースクールに対する支援施策等の情報収集などによる公共政策の必要性などの整理

### ➤ 取組みの流れ

#### 【相談】

- ・月次MTG等による事業活動の継続に向けた相談

#### 介入（伴走）

- ・取組概要と○資金分配団体としての要点など

#### 【情報の収集】

- ・自治体政策等の情報収集、整理

⇒

#### アウトプット

⇒

#### アウトカム

#### 【改善に向けた準備】

- ・課題、提案内容の作成
- ・自治体への提案

- ・月次MTGの他事業活動継続に向けたオンライン相談などにより、公的関与の必要性を確認
- 月次MTG及び個別相談の必要性

- ・資金分配団体による自治体政策等の情報を収集、整理
- 資金分配団体の役割を明確にし実行

- ・実行団体による当事者及び支援の実態、政策等にかかる情報の整理、提供
- ・当該地域の自治体への提案
- 提案内容の整理、共有化

# 【公共政策・制度への関与】伴走支援と評価

## ● ひきこもり者等支援

ひきこもり者などへの支援施策等の課題の整理とモデル事業の提示に向けた整理

### ➤ 取組みの流れ

#### 【相談】

- ・月次MTG等による事業活動の継続に向けた相談

#### 介入（伴走）

⇒

#### 【情報の収集】

- ・視察・ヒアリングの実施
- ・自治体政策等の情報収集、整理

#### アウトプット

⇒

#### 【改善に向けた準備】

- ・課題、提案内容の作成
- ・自治体への働きかけ

#### アウトカム

### ➤ ・取組概要と〇資金分配団体としての要点など

- ・月次MTGの他事業活動継続に向けたオンライン相談などにより、公的関与の必要性を確認
- 〇月次MTG及び個別相談の必要性

- ・関連団体等への視察・ヒアリング等の実施

- ・資金分配団体による自治体政策等の情報を収集、整理

- 〇資金分配団体の役割を明確にし実行

- ・実行団体による当事者・支援の実態、政策等にかかる情報の整理、提供

- ・関連団体、関係者等との協力

- 〇必要な情報の整理、把握、関連団体情報の収集、把握